

第74回沖縄県高等学校野球秋季大会

令和6年9月7日（土）～10月6日（日）

主催：一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

共催：沖縄タイムス社

琉球放送株式会社

後援：沖縄県教育委員会

朝日新聞社

会場：タピックススタジアム名護

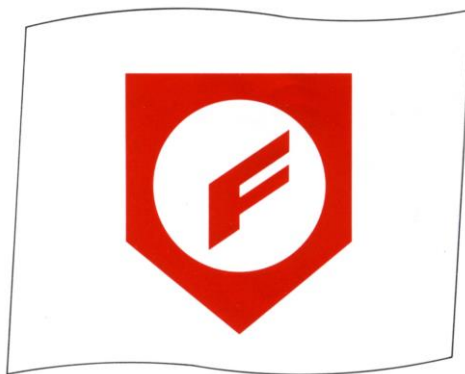
Agreスタジアム北谷

沖縄セルラースタジアム那覇

コザしんきんスタジアム

大会要項

（2024年8月15日）



一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

第 74 回沖縄県高等学校野球秋季大会 大会要項

- 主 催：一般財団法人
沖縄県高等学校野球連盟
- 共 催：沖縄タイムス社
琉球放送株式会社
- 後 援：沖縄県教育委員会
朝 日 新 聞
1. 期 日 令和6年9月7日(土) ～ 10月6日(日) 雨天順延
2. 会 場 タピックスタジアム名護 名護市宮里2-1
Agreスタジアム北谷 北谷町字美浜2番地
沖縄セルラースタジアム那覇 那覇市奥武山町42-1
コザしんきんスタジアム 沖縄市諸見里2-1-1
3. 大会申し込み 本大会に参加を希望する加盟校は、沖縄県高野連 HP (<http://www.kouyaren-okinawa.jp/>) に掲載されているエントリー用紙にて電子メールで申し込みをして下さい。
※不参加の学校も含め、加盟校は全校メールして下さい。
4. 申し込締切り 令和6年8月19日(月) 正午までに電子メールにてエントリーする。
5. 抽 選 会 令和6年8月22日(木) 午後2時
会場：北中城村中央公民館 大ホール 北中城村字仲順435番地
①参加者
各参加校(連合チーム含む)の主将 + 責任教師および監督(各校3名以内) および大会役員。
上記に加え、開会式でプラカード係を務める生徒がいれば、その生徒1人も参加すること。
②抽選に当たってはシード制を採用する。(1:エナジック、2:沖縄尚学、3:首里、4:コザ)
6. 選手資格証明書 参加校は、野球競技者登録システム「野球ねっと」で大会申し込み申請を行い、システムから出力される選手資格証明書に学校長および学校医印を押印後、PDFデータ(カラー)として1部を沖縄県高野連事務局のメールアドレスまで、電子メールにて添付送信すること。

処理期限(大会申し込み申請およびPDFのメール送信〆切)
令和6年9月4日(水)正午12時まで。 **この日時以降は、選手変更はできません。**
7. 登録変更 選手資格証明書提出後の選手登録変更は認めない。
について ただし、感染症にかかる選手変更については、別途定める。
8. 大会諸経費 ①入場整理券(大人600円、中高生200円)をもって充当する。
②中高生の団体割引については、引率者を含む20名以上は100円とする。
③剰余金が生じたときは、本連盟運営費に繰り入れ、不足の時は同運営費から充当する。
9. 大会組織 ①参加校は日本高等学校野球連盟に加盟している学校代表チームによって行う。
及び運営 ②主催者で運営委員会を組織し、大会運営に万全を期す。
③大会役員は運営委員会で適任者を選び委嘱する。審判委員は県高野連審判部が担当する。
10. 表彰及び派遣 ①優勝校へは賞状、優勝旗、優勝楯を授与する。
②準優勝校へは賞状、代表旗、準優勝楯を授与する。
③本大会の優勝校及び準優勝校は大分県で開催される第155回九州地区高等学校野球大会
【10月26日(土)～11月1日(金)】に出場させる。(抽選会10月18日(金)予定)

11. 開 会 式 令和6年9月7日(土) 午前9時 コザしんきんスタジアム
▼雨天時は、コザしんきんドームで行う。

12. 選 手 宣 誓 主将が、開会式にて選手宣誓を希望する場合は、大会申し込みエントリー用紙内にある「選手宣誓希望届」にその旨記載しエントリーと同時に電子メールにて申し出て下さい。

13. 閉 会 式 決勝戦終了後、優勝、準優勝の両校で行なう。

※**連合チーム(レンタル含む)**での参加を予定している学校は、「連合チームによる大会参加承認申請書」を8月1日(木)17時までに(期限厳守)、沖縄県高野連事務局宛に提出して下さい。とりまとめて日本高野連へ申請します。

入場料等に関する詳細

(1) 入場料は、大人600円、中高生200円、小学生以下は無料。

※試合のある学校の学校職員は、「職員証」を提示していただければ、入場料は徴収いたしません。

(「職員証」は、試合がある当該校の職員であることが証明できれば、その様式等は問いません)

※一般生徒(試合がある当該校の生徒)が20人以上の場合、各学校で作成した「団体券」を提示すれば、入場料を一人100円とする。

(2) 小中高の野球チームは、希望すれば団体で観戦できる。ただし、観戦場所は大会役員の指示に従うこととし、1団体に対して1人の大人(責任者)がチームの掌握にあたり、感染対策や熱中症、ケガや事故等の予防に責任をもつこと。責任者1人を含め入場料は徴収しない。

※団体とは、原則として、児童・生徒20人以上とする。

(3) 第一試合が終了したら、原則として払い戻しは行わない。

※第一試合が「継続試合」になった場合は、払い戻し等の対応を行う。

第74回沖縄県高等学校野球秋季大会 細則

1. 試合規則は、2024年公認野球規則と大会特別規定により運営する。
2. 選手資格は、令和6年4月2日現在で満18才（平成18年=2006年4月2日以降の出生者）以下の者。
3. 大会期間中の不測の負傷または疾病に対して、主催者は応急の手当を施す他は責任を負わない。
4. 第1試合の出場チームは、試合開始90分前には所定の球場に到着し、大会本部よりオーダー用紙を受け取り記入後、直ちに提出すること。その後放送により責任教師・主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。（オーダー用紙交換は試合開始50分前に行なう。）
5. 第2試合目以降の出場チームは、球場到着後、大会本部でオーダー用紙を受け取り、4回終了までに大会本部に提出すること。オーダー用紙交換は5回終了後に行なう（放送を行なう）。責任教師と主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。選手はいつでも試合ができるよう準備しておくこと。
6. ベンチサイドは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。
ベンチには登録の責任教師1名、副責任教師1名、監督1名、選手20名、記録員1名の計24名以内とする。
7. 責任教師か副責任教師がノックした後は、平服に着替えベンチに入ること（高野連スタッフシャツも可）。
8. 試合前のシートノックは7分間。ノック時の補助選手は5名までとし、必ずヘルメットを着用すること。又、登録メンバー以外は、ノックを受けたり守備に入ってはいけない。
9. シートノック時のノッカーは、選手と同じユニフォームを着用し、黒か白のスパイクまたはシューズとする。補助選手も試合用ユニフォームを着用すること。
10. 記録員は男女にかかわらず、自校の制服を着用すること。複数の記録員のいる場合は毎試合代わってもよい。
11. 打者・走者ともに危険防止のため、必ずSGマーク（経産省認可）両耳付きヘルメットを着用する。
12. 捕手は防護用ヘルメット・マスク（SGマーク付）とスロートガード（のど部分の防護具）、カップを必ず使用すること。また、練習時を含め、捕手は座って投球を受けるときは必ず捕手用具一式を着用すること。
13. 試合中、攻守交代は全力疾走に徹すること。
14. 攻撃側の選手は、次打者・ランナーコーチ以外はベンチから出ないこと。次打者席には、必ず次打者が入り、投手が投球姿勢に入ったら素振りを止める。危険防止のため、グラウンド内にいる全ての選手（特に次打者、ブルペンの選手）は投手が投手板に位置したならばプレイに注目すること。
15. ベンチ内のメガホンは1個のみとする（監督のみ使用）。
16. グラウンドに入ってアップを開始するときは、試合用のユニフォームを着用すること。ただし、第1試合目のチームに関しては、ランニングまでは、チーム統一のシャツを認める。キャッチボールからは、ユニフォームとする。
人員は25名以内とする。
17. 危険防止のため、球場内におけるフリーバッティング、ハーフバッティングは禁止する。また、球場内においてのウォーミングアップ及びランニングで外野の芝生を使用する際は、アップシューズを使用すること。
18. 試合中、ベンチ前でのキャッチボールは2組（4人）まで並列とし、ゴロの捕球練習は認めない。
19. 野球用具の使用については、日本高等学校野球連盟の用具使用制限に適合したものを使用すること。
《応援団について》
 1. 応援は高校野球にふさわしいものであること。品位と節度をもったものでなければならない。
 2. 大会期間中の応援団の行動は、責任教師がその責任を負う。
 3. 手指消毒など、基本的な感染拡大防止に努めること。
 4. ブラスバンド以外の太鼓については、洋太鼓・和太鼓いずれかを1個とする。
 5. 応援団は、試合中は場内の整理と感染拡大防止、試合終了後はスタンドの清掃に協力する。
 6. 個人名や校名を記入したノボリ等、テープ・紙ふぶき等は禁止。
 7. 応援団の校章旗・横断幕等は指定場所に掲げること。

大会特別規定

1. シートノックは試合前、大会本部の指示に従い行うこと。制限時間は7分間とする。但し、時間の都合で、短縮または行わないこともある。シートノックの補助員5名以内と補助ノッカー(登録外)1名を認める。
2. 本大会はタイブレーク制度を採用する。タイブレークは10回、無死1塁・2塁からとし、打順は9回終了時の打順を引き継ぐものとする。(決勝戦もタイブレークを適用する)
3. 1週間500球以内の投球とする。
4. 本大会では、得点差によるコールドゲームを次のとおり定める。
 - ①5回以降10点以上、7回以降7点以上の得点差が生じた場合。
 - ②決勝戦では、コールドゲームを適用しない。
5. 降雨中断後、30分毎に判断し、グラウンド整備を行ない90分をめどに試合続行が可能な場合は再開し、不可能と判断した場合は、審判委員が当該試合の当日の試合の打ち切りを命じ、継続試合とする。継続試合の日程や球場については、主催者が決定する。
6. 最終試合の開始時刻は日没2時間30分以前とするが、当日の天候その他を考慮して主催者が決定する。また、日没15分前からは新しいイニングに入らない。日没、その他の事情で試合の続行が不可能になった場合は、審判委員が当該試合の当日の試合の打ち切りを命じ、継続試合とする。継続試合の日程や球場については、主催者が決定する。 ※継続試合については決勝戦でも適用する。
7. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判委員が判断した時は、相手チームに事情を説明し臨時的代走者を許可することができる。この代走者は試合に出場している選手に限られ、チームに指名権はない。
 - ・臨時代走はその代走者がアウトになるか、得点するか、またはイニングが終了するまで継続する。ただし、塁上にいる臨時代走者が次打者となるケースにおいては、その臨時代走者に代えて打撃を完了した直後の者を新たな臨時代走者とする。
 - (1) 打者が死球などで負傷した場合
投手を除いた選手のうち、打撃を完了した直後の者とする。
 - (2) 塁上の走者が負傷した場合
投手を除いた選手のうち、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者とする。(参考) 臨時代走者の記録上の取り扱いは、盗塁、得点、残塁などすべてもとの走者の記録として扱われる。
8. 審判委員の判定には、絶対に抗議することはできない。但し、ルール適用の過ちがおきた場合は申し出ることができる。疑義を申し出る場合は主将、伝令、または当該選手に限る。
9. 審判委員へのアペールは、必ず主将及びそのプレーの当事者が行なうこと。
10. 試合中トラブルが生じ、試合続行が不可能な場合は、トラブルを引き起こしたチームを敗者とし、没収試合とする。
11. 打者がバッターボックスに入る時や投手が審判委員からボールを受け取る際は、帽子を取って礼をする必要はない。
12. 試合中は、ベンチ入りできない者(登録選手以外の部員・OB・保護者等)をベンチや選手控え室に出入りさせたり、ベンチ周辺に近づけない。
13. 携帯電話はベンチに持ち込まない。
14. 走者やベースコーチ等が捕手のサインを見て、声やジェスチャーで打者にコースや球種を教える等の行為を禁止する。
15. サイズの大きい走者用手袋の使用とグラブの手首へのリストバンド装着は認めない。

第 74 回 沖縄県高等学校野球秋季大会開催細則

1. 開 会 式

- 1 令和6年9月7日(土)午前9時 コザしんきんスタジアム(雨天時は、コザしんきんドームで行う)
- 2 参加チームの登録された責任教師(正副)、監督及び選手は必ず参加すること。
- 3 各チームのユニフォーム(帽子、アンダーシャツ、ストッキング等を含む)は規定のとおり同一に揃える。
(※入場行進はシューズで行う。シューズの色は統一が望ましいが、特に制限を設けない。)
- 4 選手の背番号は登録のとおりにする。
- 5 選手は8時50分までにユニフォーム着用のうえ、所定の場所でグラウンドに向かって右側から前年度優勝校の興南高校に続いて、抽選番号の若い順に各チーム主将を先頭にして身長の高い順に**四列及び三列縦隊**に整列する。以後は、選手係の指示に従う。
- 6 大会役員、審判委員、来賓及び各学校の校長、責任教師(正副)、監督は8時55分にバックネット前に整列する。
- 7 **プラカード係は各学校のマネージャー(男女問わない)に依頼する。学校の制服、チームの帽子に統一する。**
(マネージャーのいないチームは男子部員も可)

開会式次第	進	行	瀬底智樹	(高野連総務部長)
1 ファンファーレ				
2 選手入場 (行進曲)	選手係		川上琢也	(高野連技術部長)
			給水タイム	
3 開会宣言	大会副会長		遠越学	(高野連副会長)
4 国旗並びに大会旗掲揚				
5 優勝旗返還	前回優勝校		國吉駿介	(興南高校野球部主将)
6 大会長挨拶	大会長		眞榮田 義光	(高野連会長)
7 共催団体挨拶	大会副会長		武富和彦	(沖縄タイムス社代表取締役社長)
8 選手宣誓			○ ○ ○ ○	(○ ○ 高等学校主将)
9 閉式通告				
10 選手退場 始球式(10時30分頃予定)				

2. 閉 会 式

- 1 決勝戦終了後、優勝チーム、準優勝チーム、大会役員、審判委員、来賓で行う。
- 2 決勝戦が終わり次第、両チームの選手は投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列する。
- 3 大会役員、審判委員、来賓及び両校の校長、責任教師(正副)、監督はバックネット前に整列する。

閉会式次第	進	行	瀬底智樹	(高野連総務部長)
1 開	会			
2 成	績	発	表	
3 表	彰	大	会	長 眞榮田 義光 (高野連会長)
4 大	会	長	挨	拶 眞榮田 義光 (高野連会長)
5 激	励	の	こ	と ば 大会副会長 中村 一彦 (琉球放送株式会社代表取締役社長)
6 国	旗	並	び	に 大会旗降納
7 閉	会	宣	言	大会副会長 外間 昌繁 (高野連副会長)

第74回沖縄県高等学校野球秋季大会 競技役員

顧問	宜野座嗣郎 國吉眞介 宮里景眞 狩俣幸夫 赤嶺研雄 我如古清 玉城 崇 志良堂芳男 前新 健 神谷 孝 森田邦弘 前新出 上原 昇 又吉 忠 岩崎勝久 川畑三矢 半嶺 満 (県教育委員会教育長) 伊藤和行 (朝日新聞社那覇総局長) 比嘉 洋 (毎日新聞那覇支局長)
参加校校長	金城正樹 (県教育庁保健体育課長)
大会会長	眞榮田義光 豊見城高校 (県高野連会長)
大会副会長	外間昌繫 沖縄工業高校 (県高野連副会長) 遠越 学 名護高校 (県高野連副会長) 平良博志 嘉手納高校 (県高野連副会長)
運営委員長	伊藤和行 朝日新聞社 (朝日新聞那覇総局長)
運営委員長補	前川 等 浦添高校 (県高野連理事長)
運営副委員長	町原尚忠 中部商業高校 (県高野連副理事長) 宮里 淳 浦添工業高校 (県高野連常任理事) 渡久地政国 北山高校 (県高野連常任理事) 嘉数 節 浦添高校 (県高野連常任理事) 島袋春樹 コザ高校 (県高野連常任理事) 名渡山直子 与勝高校 (県高野連常任理事)
運営委員	
総務部部長	瀬底智樹 (大平特別支援)
総務部副部長	國吉大志 (昭和薬大附) 岸本拓馬 (名護商工) 末吉昇一 (具志川商業)
技術部部長	川上琢也 (美里)
技術部副部長	福仲直人 (与勝) 安富勇人 (名護) 中本昌弥 (コザ)
審判部部長	多嘉山太 (浦添商業)
審判部副部長	島袋俊哉 (那覇西) 山城和也 (豊見城南) 大城康弘 (カトリック) 上原拓 (普天間)
記録情報部部長	神里大一 (球陽)
記録情報部副部長	佐久原大志 (南部工業) 仲里裕太 (本部) 豊原啓人 (北谷)

競技役員

	富山匠一郎	中村敦		森本裕也	真玉橋長郎	
	安富大志	下地 恵		岸本亘史	町田宗毅	上原康
	東佳奈子	高良耕平		崎浜大知	大城浩二	上原正昭
	比嘉智二	伊良波泰		宮城隼人	上原健吾	喜納正太
	比嘉健二	比嘉聖士	長濱隆司	平良隆訓		
	津山嘉都真	伊保孝哉	新垣龍太郎	神山和輝	田里友哉	
	宮里義浩	宮城岳幸	當銘葵	大城英健	比嘉公也	伊志嶺大吾
	森澤征一郎	貞包空海	比嘉吉一	宮里太基		
	保里修太郎	玉城輝明	大城碧衣	山里貞俊	安座間竜作	崎浜秀哉
	知念正仁	津留直樹	上間理博	喜屋武隼人	古城大地	下地康太
	前濱範一	東亮	新里和久	大川基樹	吉元嘉邦	狩俣和也
	兼島兼哲			親川聖	伊佐優歩	
	仲宗根寛史	福仲直人	天願恒	金武孝代	仲松一星	
	下地貴村	具志堅興律	山内梨奈	島袋正太	大城康成	根路銘悠
	兼城翔太	大浦陸		大城貴史	仲里武史	石塚年勝
	喜舎場正太	伊禮直浩		知念邦睦	米須清祐	天願智靖
	浦添広志	與那城吾郎	宜志富薫	照屋圭二郎	赤堂秀馬	
	中村健			竹田知怜	外間千砂登	崎原秀弥
	金城幸伸	知名淳	喜瀬民男	天願正宗	久保田修	翁長 淳
	玉元 大輔	田原 伸繁	具志飛馬	新垣健一	上原忠	川平優次
	城間克也	奥田誠吾	玉城幸哉	神里正太	呉屋大輔	大城一基
	又吉啓介	與那嶺明輝		川満翔太	比嘉和也	
	藏本哲雄			新垣隆夫	真玉橋元博	藤木淳平
	嘉陽宗大	照屋実理	黒島大智	糸数辰信	宮里倫太郎	
	川満亨	瀬名波幹智	新里拓	喜久本聖	糸数昌之	
	比嘉秀策	嶺井政彦		金城裕介	大城盛隆	
	上原健史	大蔵宗元		當銘樹	平良栄二	与那覇拓也
	宮城耕治	西野僚真		島袋義之	新川将太	奥 辰徳
	新垣隆	平安優子		知念新大	小波津尚志	
	仲里真澄	金城聡	仲里健	松元輝	照屋拓己	比嘉繁遵
	阿波連仁	大嶺真	城間直美	内間忍	伊波大吾	上原八重子
	洲鎌 弘樹	野原潤一		渡久山玄介	大浜英康	砂川玄隆
	西銘健一	我喜屋優	砂川太	友利佳史	又吉晋也	登野城吉紘
	安里利光	池間忠彦	島袋洋奨	金城洋樹		
	外間正伍			瀬名波敦	神山剛史	山下守
	山崎仁也	藤井智	津留侑介	上向穰司	五十嵐康朗	コンズ七斗
	伊良部悠	徳山篤史	山内翔平	神田大輝	神谷喜宗	大湾達矢
	山鹿勝廣	新田 伸				
	我謝隆	喜瀬達也				

	富川盛章	安里大作	岸本敬	外間一先	仲本賢一郎	仲松志朗	福原修
	金城朋奈	中山慎	多和田真	伊計千夏	森みさき		

第 74 回沖繩県高等学校野球秋季大会

審判委員

審判委員長	多嘉山 太	(県高野連審判部部長)		
審判副委員長	島袋 俊哉	(県高野連審判部副部長)		
	山城 和也	(県高野連審判部副部長)		
	大城 康弘	(県高野連審判部副部長)		
審判幹事	国仲 吉川	町田 幸男	比嘉 安孝	玉代勢 秀人
	座喜味 治	国仲 直彦	玉城 健	澤岬 安邦

審判委員 沖縄県高等学校野球連盟 審判部

多嘉山 太	島袋 俊哉	山城 和也	大城 康弘
国仲 吉川	町田 幸男	比嘉 安孝	玉代勢 秀人
座喜味 治	国仲 直彦	玉城 健	喜納 清一
西村 洋	真壁 朝善	我喜屋 宗彦	澤岬 安邦
喜友名 功	嘉数 正重	兼次 博	仲本 盛和
金城 明	玉城 誠	大浜 拓郎	村田 直樹
大田 守嗣	安次富 進也	平田 英樹	平良 朋広
下里 大弥	山田 健登	山川 真之介	嶺井 政彦
天願 恒	平良 博志	津留 直樹	外間 一先
嘉数 節	親川 聖	前川 等	吉元 嘉邦
新田 伸	知名 淳	島袋 春樹	宮里 淳博
大川 基樹	照屋 圭二郎	奥田 誠吾	上間 理博
山城 明男	喜瀬 民男	照屋 拓己	町田 宗毅
石塚 年勝	浦添 広志	真玉橋 長郎	川満 亨
島袋 善之亮	大蔵 宗元	知念 正仁	大城 康成
東 亮	金城 聡	安座間 竜作	徳山 篤史
大城 盛隆	玉城 幸哉	西銘 健一	平良 栄二
大田 友哉	濱元 良人	安富 大志	川上 琢也
大城 浩二	仲里 真澄	津山城 嘉都真	上原 健吾
國吉 大志	渡久地 政国	宮城 岳幸	安里 大作
宮里 健二	山里 貞俊	高良 耕平	神里 大一人
上原 拓	佐久原 大志	伊藝 修策	豊原 大啓
安富 勇人	洲鎌 弘樹	仲本 賢一郎	宮里 友也
大嶺 祐介	當銘 樹	岸本 拓馬	與那城 吾朗
金城 裕介	川平 優次	大嶺 真	大城 一基
赤堂 秀馬	松元 輝	西野 僚真	伊佐 優歩